



## 第12回大会を終えて

Keio-Formula.Com

Keio-Formula.Com

<http://keio-formula.com/>



### Presentation プレゼンテーション

マシン名: **KF-12**

今回のマシンKF-12では前回のマシンKF-11でのパッケージング変更を受け、パッケージングの熟成を行うことを方針として車両設計を始めました。具体的な目標は総合成績6位入賞とし、軽量・低重心を軸としたKeio-Formula.Comらしさを踏襲しつつ、車両性能の向上によって表彰台を目指しました。

具体的にはKF-11プロジェクト中に起こったトラブルからのマシン改善、またマシンの性能評価から修正点、向上ポイントを洗い出し、設計時に生かしました。

KF-11プロジェクトで10インチタイヤに変更し、その際コンパウンドを1種類しか検討しなかったことから他の10インチタイヤのコンパウンドをタイヤデータの比較、また実際のKF-12マシンでの実装により比較したことからKFマシンに最適なタイヤコンパウンドの決定を行い、またホイールの再検討も行いました。

シェイクダウン後の実走行により初期トラブルの洗い出し、各パーツの耐久性の確認、バッテリーの耐熱性など変更点より確認を行い、マシン信頼性を見ました。またそこから走行を重ねることにより燃料噴射量のタイミングの調整やセッティングの熟成、シート位置の変更やステアリングを軽くするなどのドライビングの快適さの追求を行い、マシンの完成度を上げました。

### Participation report 参戦レポート

大会1日目の車検では、当校は1校目の車検だったことから最終確認が間に合わず、トルクのかげ忘れなどを指摘され確認の甘さを実感しました。車検時に認識違いによるトラブルがあったものの1日目の事前車検で通過することができました。

2日目の静的審査においては全体的に準備不足が影響し、コスト審査ではアクシラシー、プレゼンテーション審査では裏付け資料、デザイン審査では事前レポートの記述が不足し、不本意な結果となりました。

3日目の動的審査では、前日までにマシンセッティングや最終調整を終え、天候や気温を見つつ走行を行いました。午前は時間によって気温の差異があまりないとの予報から早めにアクセラレーション、スキッドパッドをこなし、2種目2走者ずつの走行ができました。午後のオートクロスでも早めの走行を行ったことにより第2走者も走ることができました。結果として、アクセラレーション、オートクロスはチーム内最高得点という結果を出すことができた反面、スキッドパッドの練習不足が悔やまれました。

4日目の走行となったエンデュランスでは雨により走行が大幅に遅れ、雨はやんだものの路面がウェットの状態で走行となりました。水溜りが多くある路面の中、雨走行を行ったことがなかった当マシンは不慣れな中1周を追うごとにタイムを上げていきました。しかし跳ね上げた水による電装トラブルで突然のエンスト、再始動不可能となりリタイヤとなりました。

結果として悔いの残る35位という結果となりました。

#### 今回の総合結果・部門賞

●総合35位

#### Profile チーム紹介・今までの活動

私たち慶應義塾大学は第1回大会から全日本学生フォーミュラ大会に参戦しています。資金面、人数面などサークルならではの悩みを抱えつつも、設計・製作だけでなく自由度の高い活動、文系や女子の多いメンバーなど多彩なチームになっております。少数ならではの個々の能力の高さが特色です。

#### Team-member チームメンバー

##### 深町 展夢 (CP)

飯田 訓正 (FA)、吉田 彩花、相原 祐平、川崎 陽祐、太田 篤、波多野 翔太、石川 智彬、野口 大悟、石川 智啓、鈴木 貴士、北 晃弘、倉地 星也、阿久津 貴広

#### Sponsors スポンサーリスト

多数の企業スポンサー様、個人スポンサー様にご支援いただいております。誌面の都合上、全てのお名前を掲載することができず、誠に申し訳ございません。チームホームページよりご覧いただけると幸いです。(チームHP:<http://keio-formula.com/>)